

赤色光～遠赤外線による治療

臨床で使われる機器



赤色光線治療器



近赤外線治療器



遠赤外線治療器

家庭で代用できる優れた物



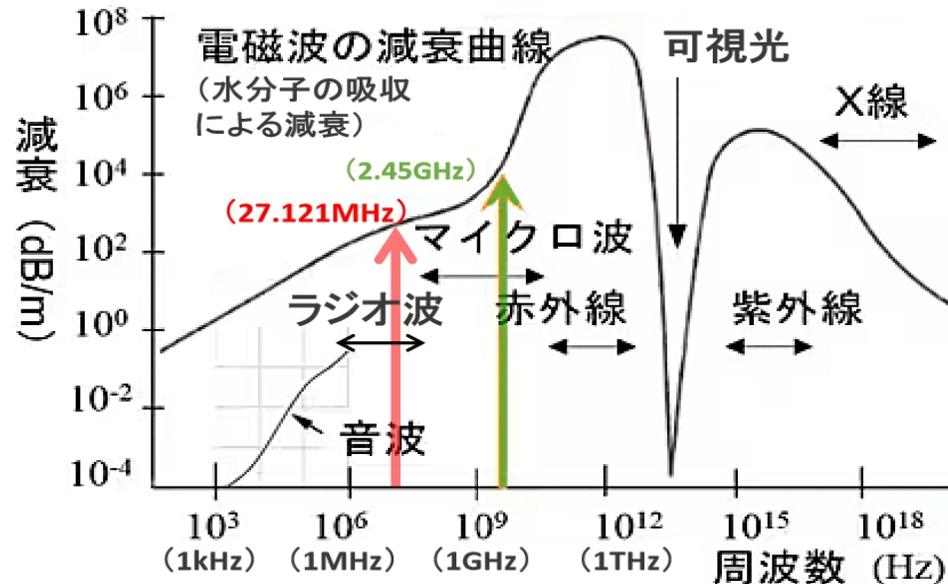
薪ストーブ



石油ストーブ



日向ぼっこ



波長が長い
(周波数が低い)



電波による温熱治療

・赤外線(近赤外線～遠赤外線)は水分子に吸収され易いため、含水物の深部までは到達しない(減衰し易い)。

・マイクロ波は赤外線よりも水分子に吸収され難い分だけ、含水物の深部まで到達して加熱することが出来る(電子レンジやマイクロ波治療器は2.45GHz)。

・ラジオ波はマイクロ波よりも更に波長が長く、水分子による吸収率が低い(減衰し難い)ため、体の深部まで穏やかに加温することが出来る。主流は27.121MHz。



ラジオ波治療器



27.121MHz



マイクロ波治療器

体の深部を加熱したいという目的があるのならば、**最良の選択肢としては「ラジオ波治療器(ラジオ波温熱治療器)」を用いることである。**

加熱などの非通信用途に用いることができる周波数は「産業科学医療用バンド(ISMバンド)」として何種類かが決められており、ラジオ波治療器は27.12MHzが主流である。